

日野川の源流と流域を守る会

会報

しのがわ

第38号



【日野川フォトコンテスト2020スマホ部門グランプリ作品】

題名：深山溪流 瞬の光芒

撮影者：月本勝稔氏

= 目次 =

- 日野川ごよみ 2~3
- 日野川散歩 4
- ちょこっとお花だより 5
- 幹事の部屋/会員の部屋 6
- 令和2年収支決算及び令和3年収支予算 7
令和3年の事業計画(新規事業)
- 令和3年これからのイベント・行事、会員募集 8

日野川ごよみ

注) 写真のタイトル及びコメントは撮影者自身が作成されたものです。

今回は、日野川流域で営まれている暮らしの姿や日野川の知られざる魅力をこれまでのフォトコンテストに応募していただいた作品の中から厳選してご紹介します。



【場所】法勝寺 【撮影者】村川 節秀
ゆっくりと流れる法勝寺川にぼんやりと映る夜桜が幻想的な雰囲気と静けさを感じられました。



【場所】日光小学校付近 【撮影者】土井垣 伸治
5月上旬、大山の麓は田植えの時期のようです。美味しい米が沢山収穫されますように！！



【場所】カワコ公園 【撮影者】榎原 省吾

娘にとっては初めてとなる川遊びでしたが、すぶ濡れになるくらい楽しんでくれました。



【場所】源流付近 【撮影者】真砂 美鈴
深く流れ落ちる清らかな水はいったいどこに向かっていくのだろうか。



【場所】日野川河口 【撮影者】中村 真生子
凜とした感じがした凍つく冬の朝。



【場所】江府町 【撮影者】橋谷 俊二
初めての川遊びにやって来た子どもたち。



【場所】木谷沢 【撮影者】真砂 昇平
二段の滝に打たれる水がミストとなり、迎り一面にひんやりとした空気を感じることが出来ます。



日野川源流の碑
令和2年6月に碑の周辺整備をしました。

萌黄色の山々を映した水鏡、幾筋も稲苗の列は山裾に向かい、クヌギ林辺りで萌黄色に収束する。



【場所】多里 【撮影者】池田 兆一



【場所】根雨 【撮影者】岡崎 祐子
根雨はオシドリの町で有名。日野川にはたくさん飛来しています。



【場所】日野川河口 【撮影者】藤原 文子
川遊びに疲れて小石を投げ始めたやんちゃ坊主。見ていて飽きないです。



【どこまで飛ぶのかな?】



【山里の春は、萌黄色】



【場所】皆生 【撮影者】内藤 正次郎
家族の絆のように感じて



【場所】鬼守橋 【撮影者】和田 稔
国道181号線の伯耆町の日野川に架かる橋に沢山の鬼のスロンス像が見えたので思わず！ご利益があるかも。



【場所】武庫 【撮影者】田辺 芳紀
日野川に設置されたギミックの中でも、現存するものでは特に歴史が古い。



【場所】舟場 【撮影者】渡辺 敏美



【場所】下石見 【撮影者】榎木 建明
日野川にかかる橋 数少ない物の曲線美のある橋



【場所】日野橋 【撮影者】生田 展久
通勤途中「今日はダイヤモンド大山だった」と慌てて撮りました。



【場所】江尾 【撮影者】財間 義文

毎年鯉のぼりが元気よく泳いでるのを楽しみに行っています。



【場所】舟場 【撮影者】平林 知紘
ホテルとサンライズ出雲



【場所】竜王滝 【撮影者】小島 憲二
今更ですが水は生命の源であり、川は水を我々に届けてくれています。川の始まりや生命力の源が連想できないかと思い竜王滝を撮ってみました。

※日野川は日南町新屋地内の源流を起点とし、河口までの延長7.7km、流域面積870km²の一級河川です。

日野川散歩

後谷川 (日野町高尾)

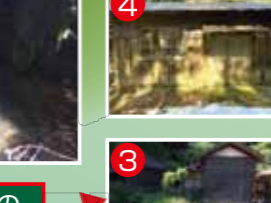
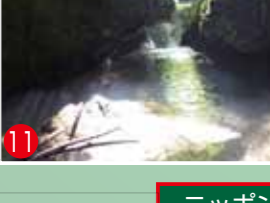
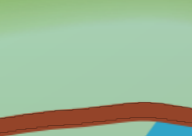
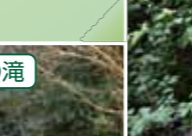
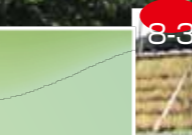
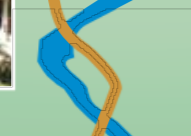
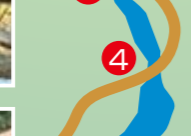
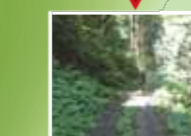
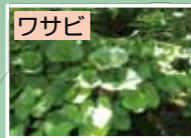
後谷溪流の楽しみ方

かつて、国道から後谷川に平行して続く木馬道を1km程上った上流付近に「後谷集落」がありました。さらに奥には、銅の鉱山が江戸時代から昭和初期にかけてありました。

その周辺には、美しい棚田が今なお残っており、そこに広がる景色は、まるで令和の時代の「桃源郷」のようです。

溪流は、集落跡から道沿いに流れており、急峻な地形から風光明媚な大小無数の滝がそれぞれ美しい顔を持っています。また、滝で発生するマイナスイオンが谷全体に広がり、目で楽しみ、空気を吸って健康になるウォーキングに適したニッポンの原風景が満喫できる魅力満載のコースです。

(国道から後谷集落までは高低差200m程あります。)



珍しい石積みの棚田

マイナスイオンロード

へびの滝

隠れの滝

壮麗な滝

後谷集会所

ニッポンの原風景が残る

至根雨

181号

大きな岩が目印

日野川

至金持

みんなで守ろうきれいな流れ

双子の滝

だんだんの滝

最初の滝



サルナシの果実を探してみませんか

サルナシは雌雄異株（雄花だけが雄株と雌花だけつく雌株があります。例えば、キウイフルーツ、イチゴなど）または雌雄雑居性のものがあります。雄花序には多数の花が、雌花序には1〜3個の花が、葉腋につきます。見た目だけでも雄花序と雌花序の違いがよくわかります。サルナシは花を見て楽しむ、食べても美味しい植物なのでご紹介します。



雄花 (約)



雌花



(花後に子房が大きくなり、果実に成長します)



近寄って観察してみましょう。雄花には雄しべが多数あり、暗紫色の葯（やく：雄しべの中で花粉を生成し、収納する部分を外形的に見た場合をいう）を付けます。雌花には子房があり長さ6〜7mm、花が終わったあとにも残存します。

サルナシ（猿梨）はサルがよく食べ、ナシのように美味しいというのが和名の由来のようです。サルナシはナシではなく、キウイフルーツに似て2〜3cmの大きさです。人間が食べても甘くて美味しいので、栽培して生食や加工食品として販売している地域があります。



(果実の断面)

秋になったら、ぜひ生食でお試ください。美味しい果実を食べると、どんな花が咲くのか見たいですね。花についてお話しします。6月頃山の中を歩いていると、樹木に絡んだ蔓に咲く白い花に出会えると思います。たくさんの花をつけているのは雄花で、まばらについているのは雌花です。来年になったら皆様もサルナシを探してみませんか。



この時期に見られる動植物



ギンバイソウ

白い5弁の花をウメに見立てたのが和名の由来のようです。葉先は大きく2裂しています。



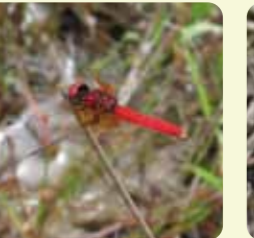
エビガライチゴ

萼の外側に密生している腺毛がエビの殻に見えるのが和名の由来のようです。果実は甘酸っぱくて美味しいです。



アサギマダラ

渡りをすることで有名なチョウです。マーキング調査により2500km以上の移動が確認されています。



ハッチョウトンボ♂

日本一小さなトンボとして知られ、体長約2cm、1円玉と同じようなサイズです。



ハッチョウトンボ♀

幹事の部屋／会員の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事及び会員を紹介します。

「私の一年間」 幹事 とちぎ たつあき 榎木 建明



ワンパターンのスケジュールで回っています。冬期間はイノシシ猟をグループで行い、暇を見つけて白鳥の撮影、春が来ると一本桜の撮影、合間を縫ってトマト栽培の床づくり定植、10月いっぱいまで収穫から片付けである。

その間癒やしになっているのが仏法僧の容姿である。近くの巣箱には野鳥の会所有の監視カメラが設置されている。録画もされているので毎日様子を見るのも楽しい。今年で7年目位かな？実際に子育てをしている様子を観察して、最近では子育ての様子も何か変わったように思える。地球温暖化の影響も重なり環境が大きく変わったのではと思います。

仏法僧の餌になる甲虫類が少ないし、昆虫の種類も少ない。日南町で毎年100羽位巣立っている。家の前の巣箱から10羽以上が巣立っている。昨年はいつも狙っている雛の巣立ちの瞬間を撮影することができた。大きくなってこの巣箱に帰還してくれることを祈る。

さて、今年は何羽巣立つのか楽しみである。いつまでもこの自然の営みが続く環境を守らねば！

又、いろいろなグループの会での出会い交流も楽しい。イベントの手伝いもしながら秋から冬へと一年が一回転の繰り返しで終わりの遠くない人生を振り返ることなく、望みのことをやりながら次世代への引き渡しも考えながら・・・



「ふるさと日野川」 会員 ふじはら あきお 藤原 章夫



私は米子に住んで半世紀以上経ちますが、学校に上がる前、日野郡（日野川の一支流のすぐ側）で育った者として、日野川には格別の思いがあります。

学生時代に伯備線を利用し帰省する際、分水嶺を越え、川の流れる列車の進行方向と同じ北に向きを変えると、ふるさとに帰ってきたんだと感じたものでした。

数年前、ふるさと「日野川」を守る会があることを知り、少しでも日野川のことを知ることができればと入会し、探訪会や講演会（アユ・オオサンショウウオなど）に参加させていただいています。

日野川源流、木谷沢溪谷、都合山たたら街道の探訪会の折には、自然保護監視員さんお手製のパウチ資料（草花・果実等の写真入り解説）を基に、現地で観察や試食？をしたりと毎回楽しんでいます。

野鳥解説員の方にも、また、事前踏査・当日同行のスタッフの皆様にもお世話になりました。

コロナ禍の昨今ですが、できれば、メイン事業の日野川源流探訪はもちろん、森林整備体験にも参加してみたいです。また、個人的には洲河崎のカツラや水力発電所なども探訪メニューに取り上げていただけたら幸いです。



会計報告・新規事業

令和2年収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
繰越金	20,351	令和元年より
会費	877,000	
補助金	441,779	R2鳥取県森林環境保全税関連事業費補助金
その他	3	預金利息
計	1,339,133	

2 支出の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
会議費	39,688	総会、幹事会
事業費	261,735	イベント開催に要する経費
広報費	170,790	会報ひのがわ36・37号
助成金	0	森と水に親しむ活動支援事業を休止
事務費	140,939	郵券料、封筒作成、用紙代ほか
工事費	500,000	源流の碑周辺整備事業
予備費	22,420	
計	1,135,572	

※残額203,561円は、次年に繰越

令和3年収支予算

総会・講演会や森・川・海を守る活動、歴史・文化・自然を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動、日野川流域憲章記念事業などの活動を行います。

1 収入の部

(単位：円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備考
繰越金	20,351	203,561	183,210	令和2年より
会費	700,000	801,000	101,000	
補助金	800,000	800,000	0	とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	100	8,003	7,903	預金利息 3円 鳥取県社会福祉協議会助成金 8,000円
計	1,520,451	1,812,564	292,113	

2 支出の部

(単位：円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備考
会議費	80,000	45,000	▲35,000	総会、幹事会
事業費	640,000	729,000	89,000	イベント開催に要する経費
広報費	170,000	201,000	31,000	会報ひのがわ38号、39号
助成金	0	150,000	150,000	森と水に親しむ活動支援事業
事務費	100,000	214,000	114,000	郵券料、封筒作成、用紙代ほか
工事費	500,000	0	▲500,000	源流の碑周辺整備事業（R2実施済）。R3は実施予定なし
予備費	30,451	473,564	443,113	予備費を計上し新型コロナ対策費等に対応
計	1,520,451	1,812,564	292,113	

令和3年の事業計画(新規事業)

源流の会では、会員の皆様楽しんでいただくため、2つの新しいイベントを予定しています。実施に当たっては、感染防止対策を徹底いたしますが、具体的な日程等については、新型コロナウイルスの感染拡大状況に留意しながら決定させていただきます。

○日野川環境保護と生き物観察会

時期：令和3年9月
場所：日南町多里地内
内容：専門家の解説を受けながら日野川流域の森林を散策し、日野川の河川清掃や生き物（オオサンショウウオ等）の観察を行う。



○日野川の風景・魅力発見ツアー

時期：令和3年10月～11月
場所：江府町・日野町ほか
内容：専門家の解説を受けながら日野川流域の森林や水辺の写真撮影や散策を行う。



日野川の源流と流域を守る会

令和3年これからのイベント・行事

時期	イベント名	内容	開催場所
9月開催予定	森林整備体験と自然観察会	日南町の森林で間伐などの森林整備作業を体験した後、自然観察会を開催します。	日南町
8月～9月	生き物等観察・学習会 (小学生及び高校生対象)	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察を行います。	日野町
9月	日野川環境保護と生き物観察会	専門家の解説を受けながら日野川流域の森林を散策し、日野川の河川清掃やオオサンショウウオ等の観察を行います。	日南町
10月～11月	日野川源流探訪 (2回実施予定)	専門家の解説を受けながら、昨年改修した日野川源流の碑を目指します。	日南町
10月～11月	日野川の風景・魅力発見ツアー	専門家の解説を受けながら、魅力的な日野川流域の森林や水辺の写真撮影、散策を行います。	日野町・江府町

【令和3年6月15日現在】

【新型コロナウイルス感染症の拡大状況の影響について】

- ・6月に予定していた森林整備体験は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県内においてもクラスター事案が複数発生するなど非常に感染しやすい状況となっていたことから、感染予防の観点で開催を見送りました。
- ・7月以降の事業実施に際しましては、一部の事業を除き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ実施方法や時期等を検討してまいります。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しませんか？

当会の活動に興味をお持ちの方は、入会手続きや会費などについて、事務局までお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ方法】

- ・Eメール・ファクシミリ
常時受付・内容確認後に返答させていただきます。
- ・電話
月～金曜日 8：30～17：15（年末年始、祝日等除く）

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会